

龍谷哲学論集

第34号

2020

伊藤邦武先生御退任記念号

- 送別の辞 松田 克進
ロック言語論と「プライベート性」の問題 一ノ瀬 正樹
野生の言説
——メルロ＝ポンティとレヴィ＝ストロース 小林 徹
ニーチェの同情＝共苦批判について 竹内 綱史
人間は至福を必然的に意志するほかないのか？
——トマス・アクィナスの自由意志概念をデカルトの
その概念と比較する一つの覚書—— 山口 雅広
感謝にかえて 藤本 忠

伊藤邦武先生御経歴・御業績

- アリストテレス『形而上学』Γ巻における「懐疑主義者」への反論
——「ありかつあらぬ」をめぐって—— 田中 龍山
エロスと弁証法
——アドルノのセクシャリティを覗く(2)—— 入谷 秀一
「時間生成の問題」序論——Algebraic Quantum Field
Theory からみえてくる哲学的解釈 藤本 忠

龍谷哲学会

龍谷哲学会規約

- 一、本会は龍谷哲学会と称する。
- 二、本会は哲学の研究と教育の発展を図ることを目的とする。
- 三、本会は右の目的達成のために次の事業を行う。
 - (一)講演会ならびに研究会を開く。
 - (二)会誌『龍谷哲学論集』を発行する。
 - (三)その他、会員の親睦交流のための行事を行う。
- 四、本会は龍谷大学文学部哲学専攻の学部学生、大学院生、研究生、兼任講師、および科目担当の専任教員を正会員とする。それ以外の者が入会する場合は、委員会の審査承認を経て一般会員として処遇する。
- 五、本会の事業を遂行するために委員若干名をおく。委員は龍谷大学文学部哲学専攻の専任教員および委員会の推薦した者に委嘱する。
- 六、会費は年会費を前納しなければならない。年会費は、一般会員（教員含む）二千円、大学院生一千円、学部学生五百円とする。
- 七、正会員、一般会員ともに会誌の配布を受け、本会主催の各種行事に出席し、発言する権利を有する。
- 八、本会は事務所を哲学合同研究室内におく。
- 九、本規約の改正は委員会の決議による。
- 十、以下の条項は、一般会員、兼任講師などにも適用する。三

年連続で会費未納の場合は、督促状を発行し、さらにその後、半年経過するも、未納の場合は除籍とする。

本規約は二〇一七年四月一日をもって施行する。

龍谷哲学会委員

伊藤邦武	小林徹	竹内綱史	田中龍山	田村公江	入谷秀一	藤本忠	松田克進	山口雅広
------	-----	------	------	------	------	-----	------	------

「龍谷哲学論種」投稿規定

- 一、本誌は、西洋哲学、倫理学、宗教哲学に関する研究論文を発表する。
- 一、投稿資格は、本学大学院博士課程哲学専攻在籍者、同修了者、本学哲学専攻専任教員、または委員会の推薦した者。
- 一、龍谷哲学会委員会の審査により掲載論文を決定する。
- 一、枚数は四〇〇字詰原稿用紙五十枚相当を標準とする。
- 一、各年度の九月末日までに完成原稿として委員会に提出すること。
- 一、掲載論文等の著作権は執筆者に帰属するが、本学及び国立情報学研究所等が論文等を電子化により公開するものについては、複製権及び公衆送信権の行使を龍谷哲学会に委託するものとする。ただし、電子化による公開は執筆者の許諾を得たうえで行うものとする。

執筆者紹介

- 松田 克進 本学文学部教授
一ノ瀬正樹 武蔵野大学グローバル学部教授
小林 徹 本学文学部講師
竹内 綱史 本学経営学部准教授
山口 雅広 本学文学部准教授
藤本 忠 本学文学部教授
田中 龍山 本学文学部准教授
入谷 秀一 本学文学部准教授

会 告

- 一、会費は郵便振替口座〇一〇二〇一三八五七一番 龍谷哲学会宛にお振込下さい。
- 一、「龍谷哲学論集」の編集に関する通信・寄贈図書・寄贈雑誌等は本会宛にお送り下さい。
- 一、「龍谷哲学」の編集に関する通信は本会気付「龍谷哲学」編集委員会宛にお送り下さい。

龍 谷 哲 学 会

京都市下京区七条通大宮東入
大工町一二五一 龍谷大学内
哲学合同研究室 六〇〇八二六六
電話 京都 〇七五三四三三三三
内線 五三〇一

編集後記

本論集は、二〇一九年度をもって龍谷大学を定年退職される伊藤邦武教授を記念するものです。伊藤先生のこれまでの多岐にわたる多大なご貢献に対して心から感謝の意を表します。同時に、これからのお仕事も実り豊かなものとなることを、そして何よりもご健康に留意されますことを切に願っております。

最後にになりましたが、本論集の趣旨にご賛同いただき、「送別の辞」ならびに「感謝にかえて」をご寄稿くださった松田克進教授ならびに藤本忠教授と、それぞれの独自の思索にもとづく玉稿をお寄せくださった執筆者のみなさまには、編集代表として深く感謝を申し上げます。特に、伊藤先生とご交流の深い一ノ瀬正樹教授（東京大学名誉教授、武蔵野大学グローバル学部教授、日本哲学会会長）には重ねて心よりお礼を申し上げます。（山口雅広）

龍谷哲学論集 第二四号

一 二〇二〇年一月三十一日印刷
二 二〇二〇年一月三十一日発行

編集者 龍谷哲学会委員会

編集代表 山口雅広

発行者 龍谷哲学会

代表 伊藤邦武

印刷 株式会社 田中プリント

京都市下京区不動寺町六七二
電話 〇七五三四三三〇〇六

